

1

ライフステージ別にみた生命保険の 加入実態、生活保障意識

ここではライフステージ別にみた生命保険の加入実態や生活保障に対する意識を分析している。

各ライフステージについては、以下のような設定で区分している。

ライフステージ	内容
夫婦のみ（40歳未満） 夫婦のみ（40～59歳）	世帯主年齢がそれぞれ40歳未満、40～59歳である夫婦のみの世帯
末子乳児 末子保育園児・幼稚園児 末子小・中学生 末子高校・短大・大学生 末子就学終了	同居の子ども（末子）がそれぞれの末子態様に当てはまる世帯 （これらの世帯はいわゆる核家族世帯（夫婦と子の世帯）に限定しておらず、母子・父子世帯や三世帯世帯（親と同居の世帯）も含まれる）
高齢夫婦有職（60歳以上） 高齢夫婦無職（60歳以上）	世帯主年齢がそれぞれ60歳以上である夫婦のみの世帯であり、世帯主が有職もしくは無職の世帯 （同居の子どもがいる場合は、「高齢夫婦有職」あるいは「高齢夫婦無職」として取り扱わず、上記末子態様のいずれかに含めている）

なお、分析対象となったサンプルの属性的特徴は以下の通りとなっている。

〈分析対象サンプルの属性的特徴〉

	サンプル数	世帯主年齢 (歳)	配偶者年齢 (歳)	世帯主年収 (万円)	配偶者年収 (万円)	世帯年収 (万円)	世帯保有 金融資産額 (万円)
夫婦のみ(40歳未満)	81	31.1	30.8	403	251	658	556
夫婦のみ(40～59歳)	249	52.1	50.9	613	211	791	1,258
末子乳児	144	35.3	33.7	523	212	626	695
末子保育園児・幼稚園児	387	37.5	36.0	557	224	745	851
末子小・中学生	686	44.6	43.2	595	190	758	846
末子高校・短大・大学生	377	52.1	50.9	632	193	830	1,143
末子就学終了	841	64.9	61.9	400	164	695	1,510
高齢夫婦有職(60歳以上)	473	68.8	65.9	417	162	566	1,853
高齢夫婦無職(60歳以上)	357	76.1	73.4	261	108	370	1,887

	サンプル数	同居未婚の 子どもの 人数(人)	配偶者の 就労割合 (%)	持家率 (%)	住宅関係費 の年間支払 額(万円)	教育関係費 の年間支出 額(万円)
夫婦のみ(40歳未満)	81	-	92.6	30.9	87	-
夫婦のみ(40～59歳)	249	-	77.1	78.7	73	-
末子乳児	144	2.2	43.1	66.0	134	27
末子保育園児・幼稚園児	387	2.1	78.6	76.5	117	39
末子小・中学生	686	2.1	73.6	80.5	91	69
末子高校・短大・大学生	377	1.8	73.7	84.4	81	143
末子就学終了	841	1.2	45.5	85.7	57	-
高齢夫婦有職(60歳以上)	473	-	70.0	88.4	33	-
高齢夫婦無職(60歳以上)	357	-	-	94.1	14	-

(1) 生命保険の加入実態

(ア) 生命保険（個人年金保険を含む）の加入率

(a) 生命保険の加入率（全生保）

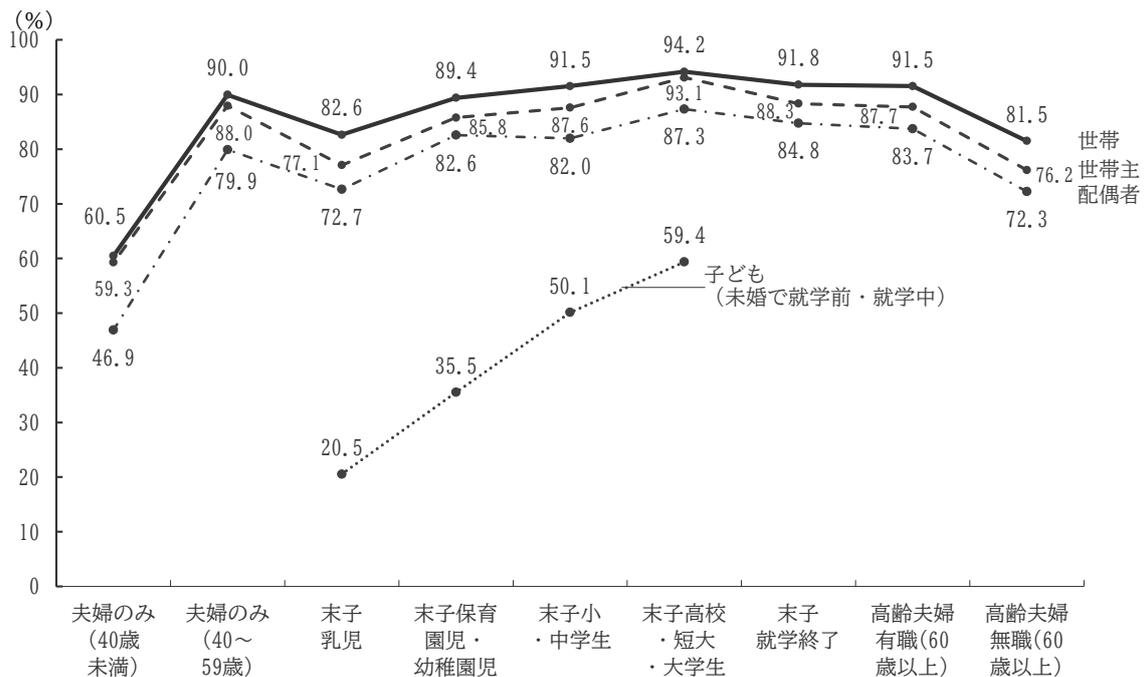
生命保険（個人年金保険を含む）の世帯加入率（全生保）は、「夫婦のみ（40～59歳）」、「末子保小・中学生」から「末子就学終了」および「高齢夫婦有職（60歳以上）」では9割を超えている一方、「末子乳児」と「高齢夫婦無職（60歳以上）」では8割程度となっている。また、「夫婦のみ」では40歳未満で6割、40～59歳で9割と加入率の差が大きくなっている。

世帯主の加入率（全生保）は、「夫婦のみ（40～59歳）」、「末子小・中学生」から「末子就学終了」および「高齢夫婦有職（60歳以上）」で9割前後となっている。

配偶者の加入率（全生保）は、「末子保育園児・幼稚園児」から「末子就学終了」および「高齢夫婦有職（60歳以上）」で8割を超えている。

子ども（未婚で就学前・就学中）の加入率（全生保）は、「末子乳児」では20.5%と低いが、ライフステージが上がるほど高くなり、「末子小・中学生」（50.1%）、「末子高校・短大・大学生」（59.4%）では5割を超えている。（図表Ⅲ-1）

〈図表Ⅲ-1〉生命保険の加入率（全生保）

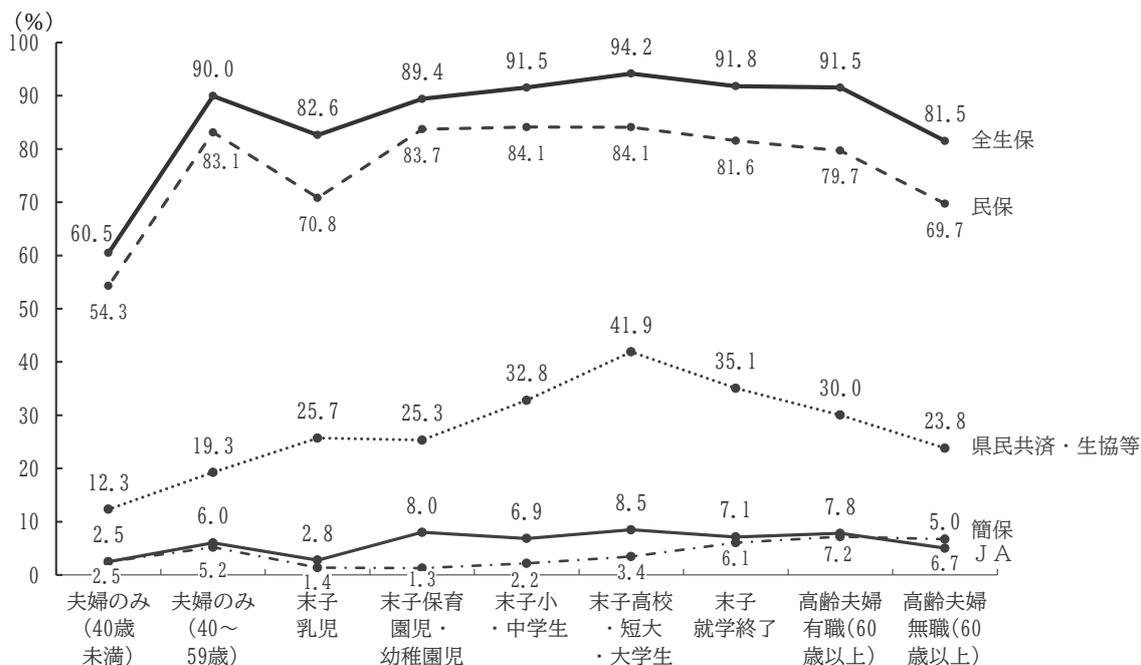


*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(b) 生命保険の世帯加入率（機関別）

生命保険の世帯加入率について機関別にみると、民保では「夫婦のみ（40～59歳）」および「末子保育園児・幼稚園児」から「末子就学終了」で8割を超えている一方、「夫婦のみ（40歳未満）」（54.3%）では5割台となっている。また、県民共済・生協等では「末子小・中学生」から「末子就学終了」および「高齢夫婦有職（60歳以上）」で3割を超えており、「末子高校・短大・大学生」では41.9%と最も高くなっている。（図表Ⅲ-2）

〈図表Ⅲ-2〉生命保険の世帯加入率（機関別）

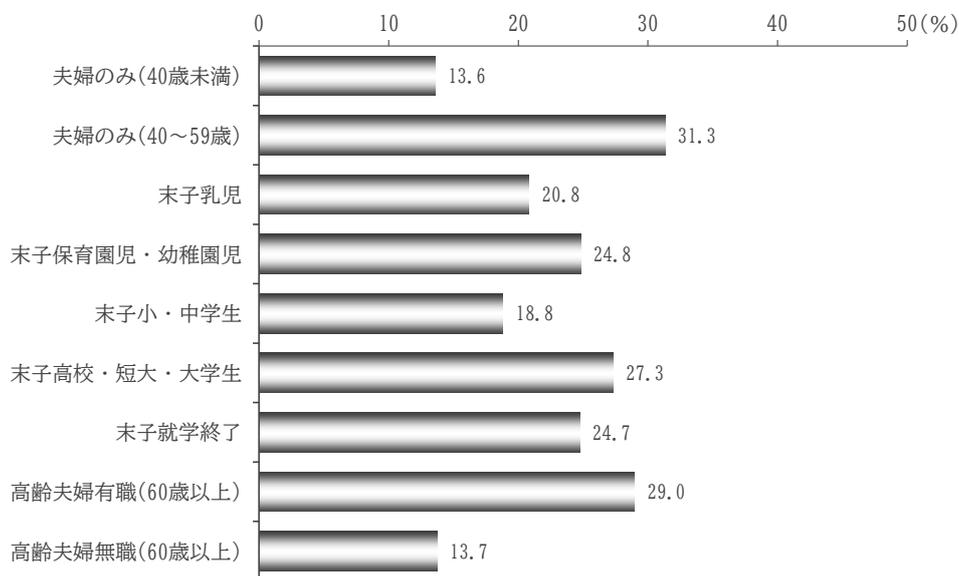


*全生保は民保(かんぼ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(イ) 個人年金保険の世帯加入率（全生保）

個人年金保険（全生保）の世帯加入率は、「夫婦のみ（40～59歳）」（31.3%）および「高齢夫婦有職（60歳以上）」（29.0%）で3割程度と高くなっている。（図表Ⅲ-3）

〈図表Ⅲ-3〉個人年金保険の世帯加入率（全生保）

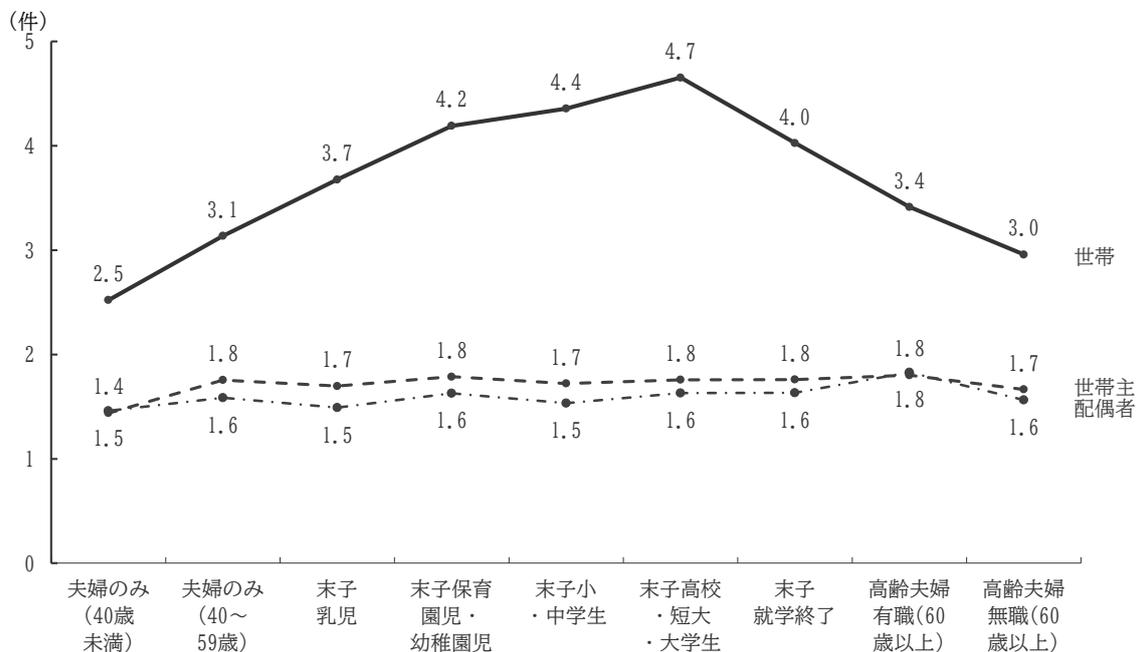


*全生保は民保(かんぼ生命を含む)、簡保、JA、こくみん共済coopを含む

(ウ) 加入件数（全生保）（個人年金保険を含む）

世帯の加入件数（全生保）は、「末子高校・短大・大学生」まではライフステージが上がるほど高くなり、「末子保育園児・幼稚園児」から「末子就学終了」までは4件以上となっており、「末子高校・短大・大学生」では4.7件と最も高くなっている。（図表Ⅲ-4）

〈図表Ⅲ-4〉世帯加入件数（全生保）



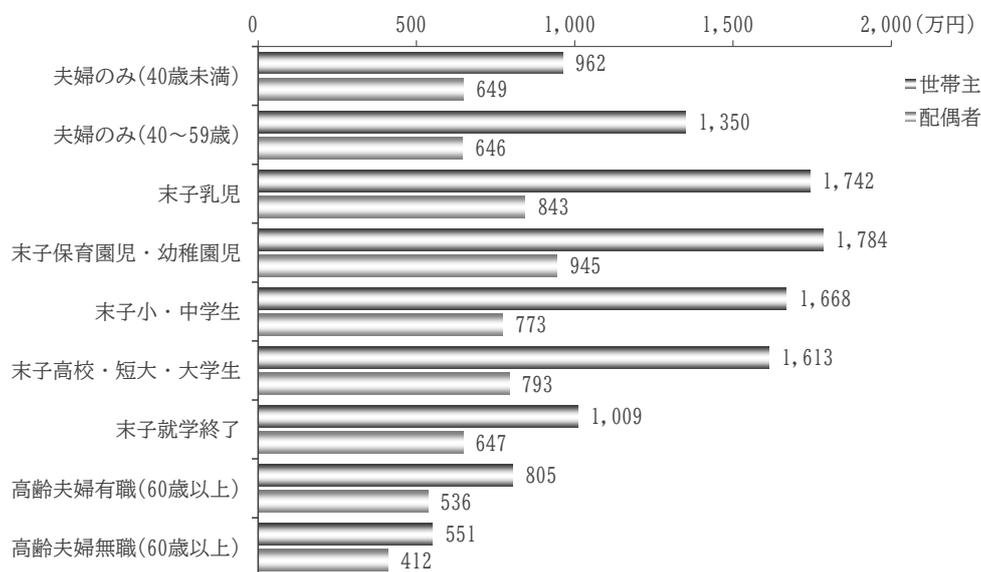
*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(エ) 普通死亡保険金額（全生保）

世帯主の普通死亡保険金額（全生保）は、「末子乳児」から「末子高校・短大・大学生」で1,500万円を超えている。一方、「高齢夫婦無職（60歳以上）」では551万円となっている。

配偶者の普通死亡保険金額（全生保）は、「末子保育園児・幼稚園児」で945万円と最も高くなっている。（図表Ⅲ-5）

〈図表Ⅲ-5〉普通死亡保険金額（全生保）



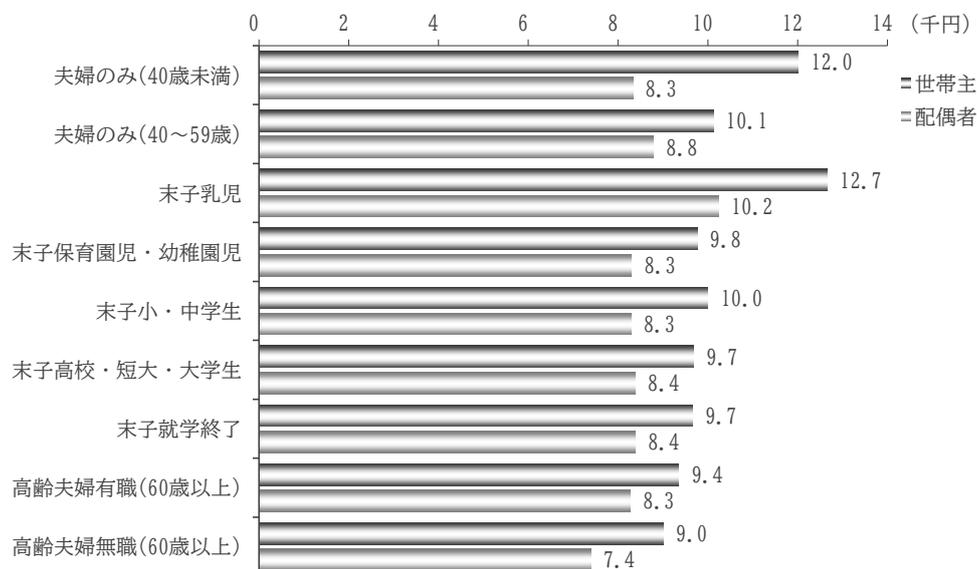
*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(オ) 疾病入院給付金日額（全生保）

世帯主の疾病入院給付金日額（全生保）は、「夫婦のみ(40歳未満)」、「夫婦のみ(40～59歳)」、「末子乳児」、「末子小・中学生」では10.0千円以上となっており、「末子乳児」(12.7千円)で最も高くなっている。

配偶者の疾病入院給付金日額（全生保）は、「末子乳児」で10.2千円と最も高くなっている。(図表Ⅲ-6)

〈図表Ⅲ-6〉 疾病入院給付金日額（全生保）



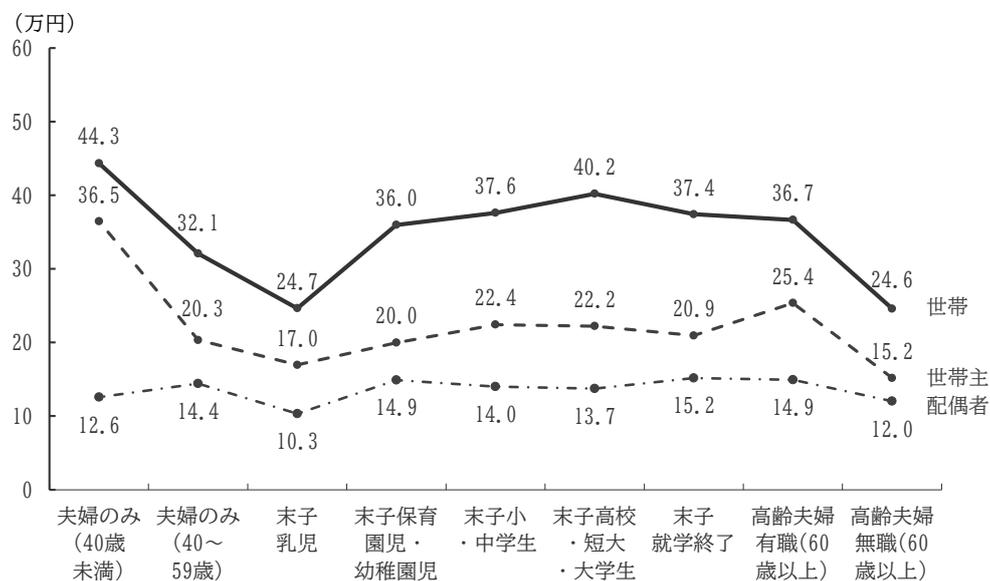
*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(カ) 年間払込保険料（全生保）

世帯年間払込保険料（全生保）は、「夫婦のみ(40歳未満)」および「末子高校・短大・大学生」では40万円を超えており、「夫婦のみ(40歳未満)」では44.3万円と最も高くなっている。一方、「末子乳児」では24.7万円と低くなっている。

世帯主の年間払込保険料（全生保）は「夫婦のみ(40歳未満)」で、配偶者の年間払込保険料（全生保）は「末子就学終了」で、それぞれ最も高くなっている。(図表Ⅲ-7)

〈図表Ⅲ-7〉 年間払込保険料（全生保）



*全生保は民保(かんぽ生命を含む)、簡保、JA、県民共済・生協等を含む

(2) 生活保障意識

(ア) 世帯主が万一の場合の家族の必要生活資金

世帯主が万一の場合の家族の必要生活資金の年間必要額をみると、「末子乳児」から「末子高校・短大・大学生」で400万円を超えており、「末子乳児」で447万円と最も高くなっている。

また、必要年数をみると、「夫婦のみ(40歳未満)」で22.9年間と最も長くなっている。

これらを掛け合わせた必要生活資金総額をみると、「末子乳児」で8,503万円と最も高くなっている。(図表Ⅲ-8)

〈図表Ⅲ-8〉世帯主が万一の場合の家族の必要生活資金

	年間必要額 (万円)	必要年数 (年間)	万一の場合の 必要生活資金 総額 (万円) ①	世帯主平均 加入普通死亡 保険金額 (万円) ②	充足率 ②/① (%)
夫婦のみ(40歳未満)	333	22.9	7,661	962	12.6
夫婦のみ(40～59歳)	344	19.2	7,097	1,350	19.0
末子乳児	447	20.1	8,503	1,742	20.5
末子保育園児・幼稚園児	438	19.0	8,175	1,784	21.8
末子小・中学生	429	16.4	7,130	1,668	23.4
末子高校・短大・大学生	422	16.2	7,050	1,613	22.9
末子就学終了	317	18.1	5,824	1,009	17.3
高齢夫婦有職(60歳以上)	285	17.3	4,947	805	16.3
高齢夫婦無職(60歳以上)	238	14.5	3,612	551	15.3

(イ) 経済的備えに対する安心感・不安感

経済的備えに対する安心感・不安感をみると、『不安』は概ね末子が就学中のライフステージで高い傾向がみられ、遺族保障、介護保障、就業不能保障は「末子高校・短大・大学生」で、医療保障、老後保障は「末子小・中学生」で最も高くなっている。(図表Ⅲ-9)

〈図表Ⅲ-9〉経済的備えに対する安心感・不安感

	遺族保障		医療保障		老後保障		介護保障		就業不能保障	
	安心	不安	安心	不安	安心	不安	安心	不安	安心	不安
夫婦のみ(40歳未満)	30.9	66.7	35.8	63.0	23.5	71.6	21.0	70.4	23.5	70.4
夫婦のみ(40～59歳)	33.3	65.9	37.8	61.0	27.7	69.9	18.5	77.9	27.8	70.6
末子乳児	27.1	72.2	36.1	63.2	21.5	77.1	15.3	79.9	24.1	73.8
末子保育園児・幼稚園児	25.3	73.4	33.3	64.3	19.6	76.7	14.5	78.0	20.6	77.0
末子小・中学生	21.6	78.0	24.9	74.2	13.8	83.8	11.5	83.5	16.1	81.2
末子高校・短大・大学生	20.2	79.0	26.5	72.7	16.7	80.6	10.9	85.4	15.9	82.2
末子就学終了	29.1	70.4	31.6	67.4	23.4	75.4	18.8	76.8	19.6	74.4
高齢夫婦有職(60歳以上)	36.4	62.8	38.3	60.3	34.7	63.8	28.1	67.2	24.7	64.0
高齢夫婦無職(60歳以上)	47.9	51.0	47.9	51.8	43.7	54.3	30.3	63.9	0.0	0.0

* 『安心』は「大丈夫」、「たぶん大丈夫」の計、『不安』は「少し不安である」、「非常に不安である」の計

(ウ) 加入・追加加入意向の有無

生命保険（個人年金保険を含む）の加入・追加加入意向をみると、『加入・追加加入意向あり』は、「夫婦のみ（40歳未満）」（48.1%）、「末子小・中学生」（42.3%）、「末子高校・短大・大学生」（48.3%）で4割を超えて高くなっている。（図表Ⅲ-10）

〈図表Ⅲ-10〉 加入・追加加入意向の有無

(%)

	近く加入 したい	余裕が出来 たら加入 したい	加入・追加 加入意向あり	その考えは 全くない	不明
	夫婦のみ(40歳未満)	6.2	42.0	48.1	51.9
夫婦のみ(40～59歳)	2.8	26.9	29.7	69.5	0.8
末子乳児	4.2	35.4	39.6	59.7	0.7
末子保育園児・幼稚園児	4.4	33.6	38.0	61.0	1.0
末子小・中学生	2.5	39.8	42.3	56.9	0.9
末子高校・短大・大学生	3.2	45.1	48.3	51.5	0.3
末子就学終了	2.3	20.7	22.9	75.5	1.5
高齢夫婦有職(60歳以上)	0.8	15.0	15.9	83.1	1.1
高齢夫婦無職(60歳以上)	1.1	6.7	7.8	90.8	1.4

(エ) 生活保障の準備状況

生活保障の準備状況をみると、末子が就学前・就学中のライフステージでは、「子どもが万一の場合の資金準備」、「子どもの治療や入院の医療費準備」、「子どもの教育、結婚への資金準備」が高くなっている。また、高齢夫婦有職、無職世帯では世帯主、配偶者の老後、介護、および配偶者の死亡、病気の資金準備の割合が高くなっている。(図表Ⅲ-11)

〈図表Ⅲ-11〉 生活保障の準備状況（複数回答）

	世帯主が万一の場合の資金準備	世帯主の老後の生活資金の準備	世帯主が病気のケガの治療や入院した場合の資金準備	世帯主が病気のケガのため長期間働くこと	配偶者が万一の場合の資金準備	配偶者の老後の生活資金の準備	配偶者の病気のケガの治療や入院した場合の資金準備	配偶者が病気のケガのため長期間働くこと	配偶者が病気のケガのため長期間働くこと	子どもが万一の場合の資金準備	子どもの医療費の準備	子どもの教育、結婚への資金準備	子どもの老後の生活資金の準備	子どもが病気のケガのため長期間働くこと	子どもが病気のケガのため長期間働くこと	その他	特になし	不明	
夫婦のみ(40歳未満)	40.7	43.2	9.9	12.3	23.5	34.6	34.6	8.6	12.3	17.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	8.6	
夫婦のみ(40～59歳)	52.2	57.8	34.1	20.1	26.5	45.0	53.0	26.9	15.7	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.9	3.6	
末子乳児	50.0	54.9	26.4	15.3	29.9	38.2	47.2	21.5	13.9	16.0	20.1	26.4	25.0	4.9	4.9	6.9	0.0	19.4	5.6
末子保育園児・幼稚園児	57.6	55.6	27.1	16.3	30.2	46.8	49.1	21.2	9.8	16.5	32.6	33.1	34.6	4.7	4.9	7.8	0.0	14.2	5.2
末子小・中学生	50.0	55.8	24.2	14.7	29.4	35.6	48.3	18.4	10.8	15.3	25.8	38.0	34.1	3.5	4.7	4.5	0.0	15.5	8.5
末子高校・短大・大学生	50.7	57.6	28.6	18.6	26.8	36.9	49.6	23.6	13.3	13.3	27.6	43.0	35.0	3.7	3.7	6.6	0.5	18.0	2.9
末子就学終了	49.2	60.8	34.0	23.2	22.8	31.3	42.7	24.3	16.1	12.7	28.8	42.3	13.8	11.1	7.4	12.5	0.5	16.1	4.4
高齢夫婦有職(60歳以上)	53.1	62.2	44.2	28.1	26.4	48.2	62.2	41.0	28.1	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	15.4	3.2
高齢夫婦無職(60歳以上)	51.5	59.4	40.6	28.0	17.9	47.6	56.6	38.4	26.6	16.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.9	2.2

(オ) 今後増やしたい生活保障準備項目

今後増やしたい生活保障準備項目をみると、「夫婦のみ（40歳未満）」、「末子乳児」から「末子高校・短大・大学生」のライフステージで死亡、老後、介護や就業不能に関する資金準備の割合が高い傾向にある。（図表Ⅲ-12）

〈図表Ⅲ-12〉 今後増やしたい生活保障準備状況（複数回答）

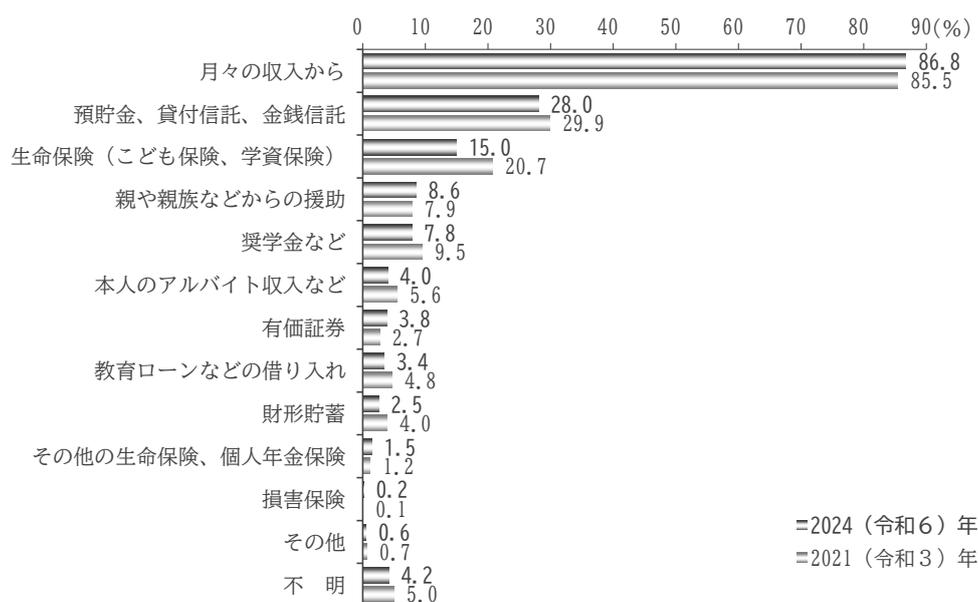
	世帯主が万一の場合の資金準備	世帯主の病気の治療やケガの治療や入院した場合	世帯主の老後の生活資金の準備	世帯主の老後の生活資金の準備	世帯主が要介護状態となった場合の生活資金の準備	世帯主が病気のケガのため長期間働くこと	配偶者が万一の場合の資金準備	配偶者の病気の治療や入院した場合	配偶者の老後の生活資金の準備	配偶者の老後の生活資金の準備	配偶者が要介護状態となった場合の生活資金の準備	配偶者が病気のケガのため長期間働くこと	子どもが万一の場合の資金準備	子どもの病気の治療や入院した場合	子どもの教育、結婚への資金準備	子どもの老後の生活資金の準備	子どもが要介護状態となった場合の生活資金の準備	子どもが病気のケガのため長期間働くこと	その他	特になし	不明
夫婦のみ(40歳未満)	42.0	33.3	40.7	29.6	32.1	37.0	35.8	39.5	28.4	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.9	7.4	
夫婦のみ(40～59歳)	22.9	16.1	40.2	26.9	25.7	22.1	17.3	41.8	30.5	23.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.7	8.4	
末子乳児	41.7	28.5	41.0	34.7	36.8	36.8	30.6	41.7	34.0	32.6	36.8	33.3	52.8	29.9	27.8	27.1	0.7	20.1	4.9		
末子保育園児・幼稚園児	34.4	23.3	40.3	30.0	30.5	29.7	24.5	38.5	30.2	28.7	28.2	26.4	41.9	21.7	23.0	20.4	0.0	23.0	7.8		
末子小・中学生	36.2	24.9	45.6	33.8	33.8	31.5	22.2	38.9	30.3	26.4	27.3	23.5	39.2	20.4	20.8	21.4	0.4	24.1	6.4		
末子高校・短大・大学生	30.2	20.4	51.2	35.0	34.0	24.9	19.1	42.2	28.4	24.7	22.8	21.0	35.3	19.1	19.4	21.5	1.1	23.6	6.4		
末子就学終了	21.0	13.7	31.4	23.7	18.5	16.1	11.2	24.9	18.1	12.8	18.0	14.4	18.5	15.5	12.2	18.9	0.6	36.9	8.4		
高齢夫婦有職(60歳以上)	15.2	9.5	23.5	16.9	10.8	14.0	7.2	22.8	16.1	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49.5	12.7	
高齢夫婦無職(60歳以上)	8.4	6.2	9.0	12.9	4.5	9.2	7.3	11.5	12.9	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.3	12.0	

(カ) 教育費に対する経済的準備手段

就学前・就学中の子どものいる世帯における、子どもの教育費や習い事などの費用に対する経済的準備手段をみると、「月々の収入から」が 86.8%と最も多く、次いで「預貯金、貸付信託、金銭信託」(28.0%)、「生命保険（こども保険、学資保険）」(15.0%) の順となっている。

前回と比較すると、「生命保険（こども保険、学資保険）」が 5.7 ポイント、「本人のアルバイト収入など」が 1.6 ポイント、「財形貯蓄」が 1.5 ポイント、それぞれ減っている。(図表Ⅲ-13)

〈図表Ⅲ-13〉教育費に対する経済的準備手段（複数回答）



ライフステージ別にみると、いずれも上位3項目は同じ順位で並び、次いで「末子乳児」から「末子小・中学生」では「親や親族などからの援助」が、「末子高校・短大・大学生」では「奨学金など」が続いている。(図表Ⅲ-14)

〈図表Ⅲ-14〉教育費に対する経済的準備手段（ライフステージ別）（複数回答）

	月々の収入から	託貯金、金銭信託	預貯金、貸付信託	保険、学資保険（こども保険）	生命保険（こども保険）	の援助（親や親族などから）	奨学金など	収入など	本人のアルバイト	有価証券	借入れ	教育ローンなどの	財形貯蓄	保険、個人年金保険	その他の生命保険	損害保険	その他	不明
末子乳児	76.4	16.7	11.1	4.9	2.8	0.0	3.5	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.7	15.3				
末子保育園児・幼稚園児	89.4	23.3	12.4	7.5	3.1	1.8	5.2	1.0	2.1	1.8	0.3	0.8	3.4					
末子小・中学生	93.1	25.5	14.0	8.9	5.1	2.8	3.8	4.4	2.6	1.2	0.1	0.6	1.7					
末子高校・短大・大学生	77.5	41.1	20.2	10.3	18.8	9.3	2.9	5.0	2.4	2.4	0.3	0.3	4.8					